

健康な歯がよみがえる インプラント治療

健康エクスプレス No. 4 0

かつては歯を失った場合の治療は入れ歯が一般的でした。現在では、機能、見た目とも極めて自然な歯のようになるインプラントが利用されるようになってきました。今回はインプラント治療を取り上げます。

失った歯を取り戻す インプラント治療とは

(1)なぜ、失った歯をそのままにしておく事が悪いのか

むし歯や歯周病により歯を失う場合があります。そのまま失った状態を放っておくと、周囲の歯のバランスが崩れます。その結果、噛み合わせが悪くなったり、残っている歯が傾いたりすることがあります。歯を失った場合の治療としては、入れ歯、ブリッジ、インプラントがあります。は失った歯の代わりとなる人工の歯を両側の歯にかぶせる冠と一体でつくったものです。しかし、の方法は噛む力が弱くなり、さらには食べ物が歯肉部分に溜まりやすいという欠点があります。現在ではこれらの方法の欠点をカバーする方法が開発されています。

(2)インプラント治療とは

インプラント(implant)とは「欠損あるいは外傷を受けた部位を補うために、人工的に製作した器官・組織の代替物などを埋め込むこと」とされています。今回取り上げるインプラント治療は顎の骨に人工歯根(フィクスチャー)と呼ばれる金属製の器具を埋め込み、その上部に人工歯を装着する方法です。

現在、治療に多く使われている人工歯根は純チタン、チタン合金でできています。その形はネジ形や先に行く程細くなる形などです。人工歯根の上には土台(アバットメント)を装着し、さらにその上に人工歯を取り付けます。これにより、歯が失われる前とほぼ同様な噛む力と噛み合わせを回復しようとする治療法です。



のインプラントという方

インプラント治療の実際

(1)インプラント治療の手順

インプラント治療の例を以下にご紹介します。(実際は歯科医師により若干異なります)

欠損した部分の歯茎を切開し、顎の骨に人工歯根を入れる穴をあけます。

穴に人工歯根を埋め込み、歯茎を縫合します。

人工歯根と顎の骨が接合するのを待ちます。(3~6ヶ月間)

人工歯根の接合を確認し、歯茎を切開してインプラント頭部を露出させます。露出した部分に土台を装着し、歯茎の定着を待ちます。(1~6週間)

歯茎が安定した後、型取りして歯を作ります。土台の上に完成した人工歯を接着して、噛み合わせを調整します。

この治療では人工歯根を取り付ける顎の骨の状態により、治療方法や治療期間が異なります。取り付ける顎の骨が細かったり、脆かったりすると、治療が複雑になります。事前に歯科医師と治療方法をよく相談してください。

(2)デメリットはないのでしょうか

インプラント治療には次のようなデメリットがあります。治療前にご検討ください。

上記のような外科手術が必要

治療期間が長期となる(人工歯根と骨との結合期間が必要)

永久に使用できるとは限らない(現在のところ10年後で95%ほどの維持率)

費用が高価(健康保険適用外の治療法)

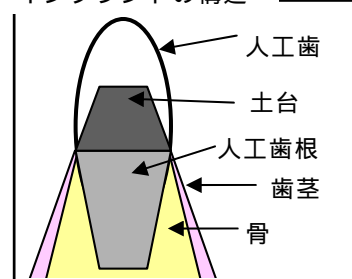
治療後、インプラント周囲炎、歯槽骨炎、顎炎、顎骨炎、骨髄炎などが起こることがある。

また、インプラント治療が不可能、もしくは適さない方もいます。例えば、糖尿病の方、重い心臓病の方、重い肝臓病の方、人工透析を受けている方などは歯科医師と相談してください。

(3)気になる費用は

一本の歯をインプラント治療により再生する場合、おおむね30万円程度の費用がかかります(歯科医院によって異なります)。また、人工歯根を取り付ける顎の骨の状態により、費用が増加することがあります。この治療法は健康保険の適用外となるため、全額自己負担の治療法となります。ただし、所得税の医療費控除の対象になります。この治療を受けた場合、領収書は必ず保管しておいてください。

インプラントの構造



《皆様の安心と安全のプレイントラスト(専門顧問グループ)》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当: 八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂3-1-2 TEL 03-3582-4511